

日時： 平成 21 年 10 月 29 日（木） 15：00～17:30

場所： 三宮研修センター 5階 505 会議室

出席者： 安田部会長ほか委員 16 名

【議事要旨】

- ・ 事務局より、第2回都市空間部会会議要旨（資料2）、前回議事についての確認等が行われた。
- ・ 安田部会長から議事次第に従い議事に入る旨発言があり、本日の議題である「都市空間部会審議資料」（資料4）などについて事務局より順次、説明が行われ、審議された。

（審議内容についての委員意見は以下のとおり。）

議題： 3 地域が主体的に取り組む地域環境をつくる

(1)密集市街地 (2)成熟したニュータウン (3)田園地域

(1)密集市街地

- ・ 課題のところには山麓斜面地が課題とあるが、取り組みの方向性のところにはその記述がない。図面にも入っていないようだが、理由は何か。

(2)成熟したニュータウン

- ・ 「空き店舗などを活用した交流・活動の場の確保を支援」とあるが、空間部会での議論ではこの記述になるかもしれないが、商業機能として、空き店舗に対して、中長期的な観点からの記述が必要と思う。空間部会ではハード中心の記述になっているが、ソフト面も含めてまとめてほしい。また、どういう人材がそこをどのように使っていくのかについても触れてほしい。
- ・ ここの全体のタイトルが地域主体となっており、エリアマネジメントが根付いていることを前提に、取り組みの方向性を記載したほうが良いのではないか。
- ・ 田園地域のところで自主運行バスなどの取り組みへの支援とあるが、田園地域に限らず、ニュータウンなど、通常バス路線の対応が難しいところではどこでも必要になるのでは。
- ・ 地域コミュニティの強化、参加の機会の創出、人材のネットワークなどの記載があるが、どういう人たちを想定しているのか。若い人でなく、ヤングオールドというか、退職した団塊の世代の人たちが地域を変えてくれると思うし、ノウハウももっておられる。今回の計画では、そういう人たちに主体になってもらいたいので、参加の機会を創出し、そのための施設をつくるなどターゲットを具体的に絞った方がよいのではないか。
- ・ めざす将来の姿には、明るいニュータウンのイメージがあるが、介護の経験からは、介護していく施設がなく、これまで培ってきたコミュニティから切り離された場所に行かざるを得なかった。そういう局面を打開するプランにしていきたい。
- ・ 成熟したニュータウンに住んでいるが、めざす将来の姿はまさにそのとおりだと思う。それは普遍的なまちの姿でもある。年を召された方を弱い人と捉えず、どうまちづくりに力を貸していただくか、という視点の記載が必要では。

- ・ まちづくり学校で、「自律と持続」をテーマに、成熟したニュータウンのひとつであるひよどり台のまち歩きをおこなった。60代、70代の方を中心にまちづくりに活発に取り組まれている。自律という意味でも、行政サービスをどうするかだけに記述が偏っては問題がある。
- ・ フィンランドのタピオラは歴史あるニュータウンとして有名だが、地区センターに墓地を入れるという大きな土地利用転換を行っている。宗教的なバックグラウンドは異なるが、このような転換も重要な視点であろう。

### (3)田園地域

- ・ 地域による田園景観の取り組みへの支援との記載があるが、まず都市近郊農業としての充実策があるべきで、農業の活性化に対応して良好な景観が生まれてくるのではないかと。いかに田園地域を活性化していくかが重要である。
- ・ 今後、農業がより多様化することが想定され、田園環境についても市街地と同じようなコントロールが求められている。
- ・ 農業のあり方についてだが、空間部会では現在示されている地域の範囲で、ものを考えようとしているのか伺いたい。議論を進めるにあたって、現在の図の地域の範囲に限定しないということも頭においておくべきではないか。
- ・ 例えば、神戸の農業は一步踏み出して、会社方式で進めることも考えていくのかどうか。その進め方をするとすると、都市空間上の対応も必要になってくる。
- ・ 田園地域の記述が地域による〇〇への支援となると市が一步引いたような記載になるが、よいのか。
- ・ 農業のあり方は活力・魅力部会にも深く関係するが、土地利用の問題として考えていくところでもある。
- ・ 地域が主体的に取り組むということでは、里づくり協議会などで自ら土地利用を考えるような取り組みにもふれておくべきではないか。

### 全般・記載の工夫について

- ・ 3（地域が主体的に地域環境をつくる）のめざす将来の姿には、何のためにという目的の部分が書かれておらず、方法論が記載されている。取り組みの背景を記載しておいたほうがよい。
- ・ 3（地域が主体的に地域環境をつくる）はむしろしくみを書く書き方だと思う。課題はこれまでのしくみを検証した結果であるべきだが、書き方には研究を要する。
- ・ めざす将来の姿では、〇〇を通じて、という方法論が強調された感じがする。記載方法に工夫が必要では。

[委員からの主な意見に対し事務局より行った回答及び補足説明は以下のとおり。]

- ・ 山麓斜面地について、課題として認識している。今回の説明図面は、現在取り組みを行っているところを記載したもので、山麓を含む密集市街地については取り組みの範囲の検討を行っているところであり、現段階では全てを図面に落とせていない。
- ・ 農業地域の範囲について、市街化区域については、基本的にはその範囲を拡大しない方向でまちづくりに取り組もうとしており、田園ゾーンについても、基本的にその範囲で活性化をと考えている。

- ・ ○○を支援するという記述について、文章では、主語を省略して主体（行政）を表現しようとするとしてもこのような記述になってしまうが、今回の基本計画は協働計画と考えており、行政がこれはここまでしかやらないということではなく、一緒にやりましょうという考えである。表現の工夫については、検討していく。

#### 議題：4 活力・知力・魅力にあふれるリーディングエリアの創出

##### (1)都心・ウォーターフロント (2)ポートアイランド (3)兵庫運河 (4)六甲山・有馬

##### (1)都心・ウォーターフロント

- ・ 東灘区でも現在、区の計画づくりに取り組んでいるが、ワークショップでは水上バスを西宮浜～芦屋浜～東灘～中央まで通すという案が非常に人気を得た。都心ウォーターフロントの検討にも隣接する都市との関係をもっと意識してもよいのではないか。
- ・ 水上バスについては、結局採算性で残念ながら撤退するという状態が続いている。あったらいいなどのイメージは湧くが、実際に利用するということまでいくかが問題。
- ・ 言葉の使い方についてですが、新港突堤もすでに新港ではない。どこかの時点で名前を変えていくというのが大事では。
- ・ リーディングエリアが3箇所だが、海沿いというともっと広く、舞子、須磨海岸もあるのに、なぜ兵庫運河で切られているのかと思う。
- ・ 旧居留地の景観がひとつ奪われ残念に思うことがあった。15番館の東西の道が非常に好きな景観だったが、東西両方の視点の先にマンションが立ち、空が奪われた感じだ。
- ・ 都心・ウォーターフロントに箱物ができるなら、夜間景観を大切にしたい取り組みを期待したい。例えば香港のシンフォニー・オブ・ライツを意識してもらいたい。
- ・ 都心・ウォーターフロントも大きな方向性として考えるのであれば、個別のプロジェクトが止まっている時期にきちんと全体のプランをまとめ、個々の建築をきちんと誘導していくべきと考える。
- ・ 元町も都心にあるが、駅周辺の整備が不十分である。南京町というシンボルをいかし、三宮や港と一体となって、グレードアップする取り組みを打ち出してほしい。
- ・ 昔とは船の数がぜんぜん違う。以前は港に活気があり、ワクワクする感じがした。今は活気が少なくなったが、神戸港をどのようにアピールするかを考えるべき。
- ・ 都心とウォーターフロントが一体化しても世界に発信できないと思う。世界レベルのものが少ない。明石海峡大橋は世界一長いつり橋として、海外にもアピールできる。
- ・ 須磨のヨットハーバーは大きなヨットが止められない。空港島付近にはヨットが寄れない。神戸のよさは水面にもあり、トータルでデザインする必要がある。
- ・ リーディングエリアとしてはもう少し別の視点もいるのではないか。
- ・ ウォーターフロントについて何を重点におくのか。須磨、舞子、明石海峡大橋を含めて考えていただきたい。
- ・ ウォーターフロント研究会ができて期待していた。みなとまちのグランドデザインが必要と感じている。シドニーのオペラハウスやアメリカの東海岸の都市などは非常に美しい。神戸も海と山を売りにした戦略を考えていくべき。

## (2)ポートアイランド

- ・ ポートアイランドの生活関連施設の不足が課題として上げられる。欠けている機能をどう補足するのかについて、具体的には部門別計画かもしれないが、少しは書き残しておかないとどこにもないのでは困る。
- ・ ポートアイランドの部分の記述は 2 期を意識した記述となっているが、1 期の部分の問題も大きい。ファッションタウンも衰退の兆しが見られる。大学もできたが、学生と交流できる場所も銀行もない。これらのことは官民が一緒に考えていく問題だ。
- ・ ポートピア博覧会のときは、日本中からすごい人がやってきた。21 世紀を先取りした未来型の都市と思ってきた。今の状況はどうか。第 1 回 部会でも反省することも必要との意見をいったが、計画的につくってきたまちの実態を検証し、次に活かすことが重要では。2 期の取り組みも 1 期の反省を踏まえた計画とすべき。

## (3)兵庫運河

- ・ 観光タクシーで鉄人 28 号の観光ルートを考えて。ひとつは目をならず意味で、兵庫大仏を見ていただき、そこまで行けば、川崎重工の車両工場ということになる。そこではゼロ系新幹線もみることができる。兵庫津は全国区ではないが、ゼロ系新幹線は全国区。魅力あふれる空間は全国区で勝負していく必要がある。
- ・ 兵庫運河は、大変価値のあるところだと思う。しかし兵庫運河と書くと運河だけになるので、運河周辺も含んだエリアとしていただきたい。川崎重工、三菱造船、大輪田泊などは全国区。兵庫運河もシビルエンジニアリングとして優れた資産。
- ・ 最近訪れた碓氷峠の橋などではシビルエンジニアリングとして、先人の偉業を感じた。そういったものに市民が誇りをもち、まちを自慢したくなる。神戸にも土木遺産も数多くあり、観光資源になっていくと思う。
- ・ 三菱、川崎などの企業にどう参画してもらうか。企業の取り組みはもっと市民に見せることが必要だと思う。川崎は日本のみならず、世界の車両を作っている。もっと企業にもまちづくりに参画してもらう必要があるのでは。すばらしい産業の財産である。

## (4)六甲山・有馬

- ・ 六甲山から見える景色は非常に美しいが、今は 120° の視界を確保できる場所も少ない。夢のような話だが、例えばハーブ園⇒摩耶ロープウェイ 星の駅⇒六甲山上と横につなぐロープウェイがあると面白いと思う。
- ・ 「六甲山はきれいな空気が吸える場所として車を排除しては」と以前提案して怒られたこともあったが、低炭素社会をめざすなら大胆にそのような取り組みをしてもよいのでは。
- ・ 六甲山は神戸にとって大きな意味を持っている。神戸は一人当たりの公園面積の大きいまちだが、それに六甲山を加える考え方をさらにもつ必要がある。観光地の側面だけでなく、市民がきれいな空気が吸えるという部分も大事。

## リーディングエリア全般

- ・ リーディングエリアについては、地域をネットワークしていくという考え方も必要では。かつて設定していた酒蔵や六甲有馬などの観光群という位置づけは、今回はどう扱うのか。

- ・ 現在は場所が先にあるが、今後の整理では、テーマを追う中で空間とつながり、場所が現れてくるという整理もあり得る。

#### 全体

- ・ 芦屋、西宮と連携がうまくとれていない。東京の人から見ると神戸は広く、芦屋、西宮も神戸、明石、加古川も神戸と思っている人も多い。
- ・ 阪神間の住宅地といったときに隣の芦屋の存在もあり神戸も美しいといわれる。デザイン都市の取り組みも神戸だけでよいのかと感じている。
- ・ こちらに越して来た頃に、「神戸に住む」と友人に言うと言われたが、「須磨よ」と言うとそのイメージも良かった。西の方も含めて、全体的な感覚をもつことも大切である。
- ・ 団塊の世代の方が、地域のために活躍するのは重要だが難しい面も多いので、その手立てについて記述しておく必要がある。板宿など本当に懸命に取り組まれているが、どの地域でそのような取り組みがあるかについて把握できるようなデータというものはあるのか。
- ・ 道路・交通体系については周辺地域まで含まれているが、他の議論はポイントごとになっている。海と山のまちとして、運河だけでなくすべての水面をどう活用するかという視点が重要。

[委員からの主な意見に対し事務局より行った回答及び補足説明は以下のとおり。]

- ・ ポートアイランドのご指摘の点については、課題として認識している。庁内でも議論を深めたいと考えている。
- ・ 観光群については、前計画では観光など個々の拠点についてふれているが、今回の資料では全体像として大きな流れで整理しているため、ふれていない。
- ・ 地域力を測るデータの有無についてご質問ですが、調べてみたいと思います。

以上